



報道各位

2022年8月1日
住商コスメティクス株式会社
住商フーズ株式会社

化粧品素材の新規開発検討について

－住商コスメティクスと住商フーズ、SDGs視点での化粧品素材開発で提携－

住商コスメティクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：秋山光、以下「住商コスメ」）と住商フーズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山下伊士、以下「住商フーズ」）は、このたび SDGs 視点での化粧品素材開発及びサプライチェーンの構築に向けた取り組みを開始します。

住商コスメティクスは化粧品素材事業、化粧品製造事業(ODM)をコアビジネスとし、グループ内の海外素材販売会社(北米 Presperse, 南米 Cosmotec、欧州 SACI-CFPA)と共に、昨今の激しく変化する市場、顧客ニーズに対応するべく、「開発力」、「提案力」、「スピード力」を意識し、特に日本市場においては“業界貢献”、“J-Beauty の世界への普及”を標語としたビジネス活動を進めています。現在グループ内で取扱いの化粧品素材は、機能性に加え、天然由来、トレーサビリティ、環境負荷等の視点から選ばれたグリーン素材が中心となっており、こうした由来観点での化粧品素材の要望は、国内でもより一層強くなっています。

住商フーズは創業以来、安全・安心で高品質な商品を安定供給する開発輸入型の食品専門商社として、世界各国の産地調査からの原料の調達、商品開発、生産・加工の管理、国内流通までを一貫して手掛けるビジネスを展開しており、取扱商品は世界約 40 か国から 500 アイテム以上と多岐にわたります。「World Food Curator」として、世界中の食材と、食に関するさまざまな情報を収集・整理し、そこに新たな解釈を加え、顧客の真のニーズや調達先の実情に合った最適解を提案・実現し、新たな価値を創造することを目指しています。また、その事業活動は豊かな自然の恵みの源に成り立っているため、事業活動が地球環境に与える影響を十分に配慮し、近年ではサステナビリティを事業活動の中軸に据

えています。

こうした背景から、今般両社は共同で世界の特徴ある果実、野菜などの食品から新たな有効成分及び化粧品素材開発を進めると同時に、「食品ロス」、「SDGs」視点での食品残渣の有効活用に関しても本格的な開発に着手しました。開発においては、機能性の担保はもちろんのこと、製造工程や流通においても SDGs 観点を重視しており、両社及びパートナー先との提携による実現を目指しています。両社は引き続き食品、化粧品業界のボトルネック課題解決に向け、両社の独自の経験、ネットワークを駆使し業界貢献の実現を目指します。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

住商コスメティクス株式会社 化粧品素材事業部

TEL:03-6212-0125 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋一丁目2番2号

【本件に関するお問い合わせ先】

住商フーズ株式会社 農産加工本部

TEL: 03-6369-0005 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋一丁目2番2号